

みんなであつたよ



井戸ばた会議

11月号の★募集テーマから

リタイア後にしてみたいこと



生涯現役を決意表明される方が多数を占めていました。定年がないというのも、このお仕事ならでは!? 一線を退いても地域づくりに貢献する、再びケアワーカーとして働くなど、みなさん、すでに次の活躍の場を見据えているようです。 (編集部)

仲間とともに デイを立ち上げます

栃木県 とちおとめ 61歳

独立ケアマネです。ケアマネは管理者の私も含め2人。定年はありませんが、還暦を節目に進めてきた計画があります。仲間と、総合事業の通所Bを開設することです。

私は、民生委員もしています。地域をまわっていると、定年を迎えた人とお会いします。1日を持て余していたり、体の衰えが心配という人が多く、居場所になって、かつ介護予防もできる場所があったらいいのではないかと思いつきました。

私の地域では今年4月から総合事業がスタートしましたが、私たちは

その1年前から動いていました。メンバーは私も含め7名。介護職は私だけ。あとは民生委員の活動を通じて知り合った元エンジニアや市役所職員など、リタイアした人たちです。

私の預金やメンバーの退職金で土地を購入し、今建物を建てるところです。来年オープン予定。今の事業所もそこに引越す予定です。

投稿用紙のご利用 (p.47、もしくはホームページから投稿) で、掲載された方には、**1,000円の図書カード**を差し上げます。



プラン作成は部下に任せ、私はデイの運営と、あとは以前からやりたかった成年後見に力を入れて行こうと考えています。

僧侶の資格取得し 心のケアできるGHIに

福岡県 甲木敏光 63歳

グループホームの代表です。僧侶の資格取得を目指して、大学の社会人講座に通っています。

ボランティアとして、東日本大震災の被災地に赴いたことがきっかけになりました。被災者の心を癒やそうと奔走する僧侶の姿を目にして、私もこんなふうになりたいと思ったのです。

入居者には、自信をなくして悲嘆にくれている人もいます。自然の摂理に任せ、人生を肯定し、他者とともに生きようという仏教の教えを学ぶことで、もっと入所者の心を支えることができるのではないかとこの思いもありました。

僧侶の資格を取るにはもう少し時間がかかりそうですが、学んだ知識は生きています。老いや死の痛みを和らげるため、法話もします。身寄りのない入居者の葬儀で、お経をあげたこともありました。

資格を取ったら、心のケアまで提供し、看取りから、残された家族のケアまでこなせる施設づくりを進めていきたいです。

ぎりぎりまで働いて 明日から利用者!?

滋賀県 ねこ

私が働く地域は慢性的な人材不足。定年を設定していない法人も多く、介護職の中にもかなりの年まで働く人がいます。

体が動くぎりぎりまで働いて、働けなくなったら明日からこの入居者だね、なんて笑いながら話したこともあります。

私もゆくゆくは利用者としてお世話になるはず。給料をもらって、育

ててもらって、最後は介護までというのは凶々しい? でも、一生懸命働いたご褒美と思えばいいのかな。もしそうになったら、今度は利用者として後進をバンバン鍛え、最後のご奉公をしようかなと思います。

住民同士が支え合う 互助のまちづくりを進めたい

栃木県 nishiura569

定年後、といっても、もう定年は過ぎているのですが、まだまだ現役です。

仕事は住まいの地域ではなく、他市での勤務。住みよいまちづくりのネットワーク作りや、多課題を抱える世帯の包括的支援の仕組み作りなどです。リタイアしたら自宅のあるわが町で、福祉の豊かな住みよいまちづくりのお手伝いをしたいと夢見ています。

現在、小さな集落の自治会で役員をしているので、ぼちぼち互助のあふれるまちづくりを呼びかけていこ

